

国際ロータリー 第2780地区



ロータリーは機会の扉を開く

ガバナー月信

2021年3月号 No.9

2020-2021年度ガバナー 久保田 英男



©Hakkodo

五角筥 流水桜文 一木からくり抜いた五角形の膨らみのある筥に、水の流れの中に舞う桜の花を彫り込んだものです。満開を過ぎた桜もまた、日本人の美意識に訴えるものがあります。



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	国際協議会報告	4
あれから十年...		クラブ紹介 第7グループ	6
2月 『水と衛生月間』		お知らせ	9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
Rotary International District 2780 2020-2021

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2020～21年度ガバナー

久保田 英男
(鎌倉RC)

あれから十年…

小学生のころ、家の建て替えのため半年ほど鎌倉材木座に仮住まいしていました。和賀江島という日本最古の築港跡が目の前に、背後には浄土宗本山光明寺山門がそびえる場所にあっただお宅の離れでした。学校帰り、大家となるお宅に上がり込み、その家のおばあちゃんのくれるおやつと昔話を聞くのが日課となっていました。祖父母と暮らした経験のない少年の私には、おばあちゃんとの会話が楽しみでした。

ある日、彼女が関東大震災の体験を話しはじめました。それは、おばあちゃんが、お嫁にきた年に起きたそうです。

お昼の支度中、突き上げるような揺れに見舞われ、夢中で柱にしがみつき耐え、大きな揺れがおさまり家を飛び出すと、家々は倒壊し、目の前にあるはずの海は干上がり、残夏の青い空がやけに低く見えたそうです。まるで地震で海の底が割れ、空を支える柱が折れたように見えたのではないのでしょうか。しばらく、彼女は茫然とその光景を眺めていたそうです。すると浜へ走ってきた漁師たちが叫んでいます。「海へ近づくな!!」「早く逃げろ!!

お寺の本堂に上がれ!!」と。いったん家へ戻り何かを取ろうと思ったその時、「ダメ、急いで」とお姑さんに手を引かれるまま、何も持たず裏手にあるお寺に走り始めました。何が起きているのか怖くなって後ろを振り返ると、「見るな、とにかく走れ」と叱られたそうです。本堂の手前まで来て、もう走れないと腰を下ろして後ろを振り返ると…。

「海がね、真っ黒な海が、せり上がってきたんだよ。怖くてね、もうあとはただただ皆と一緒にひたすら走ったよ。」このセリフは今もなお私の心に鮮明と残っています。

子供心に、津波はザブンと大きな波が来るんだろう、「海がせり上がる」なんて、と思っていました。十年前、東北で起きた災害の映像を見て、なんと生々しい話を聞いていたのか、と驚くばかりです。「経験に奢る愚か者、歴史に学ぶ賢者」。私たちが東日本大震災を知らない子供たちに伝えなくてはいけない核心は何か、考えさせられます。

十年の年月の中、被災された東北の人々と離れて住む私たちと感覚が少し離れてきているように感じます。恐怖を感じ、泥だらけになり、暗闇の中で不安に流した涙の経験に今も苦しむ被災地の人々。もちろん、私たちも

その気持ちを忘れたわけではないでしょうが、それよりも被災地災害支援や復興に関わったことを、武勇伝のように思う気持ちが、強いようになってきました。それが、もっと大切に根本的な教訓を曇らせているのではないかと心配に思うことがあります。建物や道路は、直すことができますが、人の命は二度と戻りません。とある気象庁に長年勤務された方の話を聞く機会があり、その方は気象の専門家でしたがこんなことをおっしゃいました。「最近の予報精度が高い、と言われるが、まだ水害や台風で亡くなる方のニュースを見るたび、まだ何かできるのではないかと。まして、死んだ人がいるのに、この程度で済んだ、などと聞くとやるせない気持ちになる」まず、命を守ること、それを考え、伝えていくことが大事だと。

万が一の時、自分を、大切な人の命を、守ることの大切さを忘れてはなりません。

おばあちゃんは、命からがら逃げ伸び、お寺のお堂で嫁入り道具の鏡台が流れているのを見て、「生きていた」と安堵したそうです。「逃げろ」と叱った漁師さん、手を引いたお姑さんの言葉の重みは、この言葉から伝わります。

10年前の3月11日14時46分、あなたはどこにいましたか…あの時の恐怖、そしてその時から始まった不安と悲しみ、決して忘れないで下さい。

2月『水と衛生月間』

地球は水の惑星、日本は水の豊かな国といわれています。そして現代においては、上下水道インフラは完備され、水のありがたさをあまり感じることなく暮らしています。だから「水と衛生」と言われてもピンと来ないかもしれません。

あまり意識することのない「水」ですが、震災の時も台風などの時も私たちが最も必要とし心配するものは「水」ではないでしょうか。

飲むだけではなく、米を炊くにも、料理にもなくてはならない生きるために必要なものです。そして、体や衣服を清潔に保つにも、住まいや道具の洗浄、排せつ物に至るまで「水」のお世話になっています。私たちが文化的で健康に暮らせるその源が「水」という資源なのです。

バケツ一杯の水を汲むために学校へ通うことのできない子供が世界にはたくさん存在するのです。先の震災でも話しましたが、命を守ることが何よりも大切で、それが確保されない限り教育は置き去りにされてしまいます。水と衛生環境が変われば全ての子供が教育を受けられる訳ではありませんが、大きな要因であることは事実ですし、取水をめぐって戦争すら起きる、ということも事実です。「水」の価値はこれほどのものであり、赤痢などの疫病、それこそポリオも衛生環境が整えば罹患することも減り、疾病予防にもつながります。だからこそ、「水＝命の源」と言われるのです。

震災から十年、あの日を思い、そして、ロータリーの取り組みの中から知る世界。蛇口を捻れば流れる水。様々なことを思い、コップ一杯の「水」を大切にすることを広げていきましょう。

最後になりますが、「ロータリーの友(3月号)」に巻頭特集にかながわ湘南R C磯崎勇次会員(水と衛生)、縦組み巻頭に相模原R A C・O Bの福本壘君(震災復興)の記事が掲載されています。当地区が縦横巻頭制覇です。是非、そちらもご一読を。

2021～22年度 国際協議会報告

カバナーエレクト 田島 透
(ふじさわ湘南RC)



【バーチャル国際協議会】

今年から国際協議会は米国フロリダ州オーランドで行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でWEBでの開催となりました。従来よりも長い11日間の開催でした（2月1日～11日）。本会議とパートナーセッションに分かれ、それぞれ午後11時からと午前11時に開催されました。さらに午後2時からのセッションがありました。セッション後は毎同期エレクトとの情報交換を兼ねたZOOM会議が開催されました。研修リーダーは以下の三名でした。

水野 功 研修リーダー（メンター）
菅原 裕典 研修リーダー
四宮 孝郎 研修リーダー

本会議

- 第1回 次年度のビジョン
- 第2回 ローターリーの成長
- 第3回 ローターリーによる対応
- 第4回 世界でよいことをしよう
- 第5回 効果的なリーダーシップ

分科会

- 第1回 私たちの旅路 (Our Journey Together)
 - 第2回 参加者の基盤を広げる
(Expanding Our Reach)
 - 第3回 世界を変える行動人 (People Of Action)
 - 第4回 奉仕のインパクト
(The Impact of Our Service)
 - 第5回 ローターリーでの経験を向上させる
(Enhancing The Rotary Experience)
 - 第6回 行動しよう (Ready, Set, Action)
- 他に財団について、RI会長エレクトとの質疑応答、など臨時セッションが開催されました。



2021～22年度シェカール・メータRI会長

RI会長エレクト方針概要

【超我の奉仕】

メータ会長はロータリーの原点である「超我の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受けてこられました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えています。自身にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。

奉仕を実践し、奉仕に目覚めたことで単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになった。とご自身の経験を話されました。奉仕にはロータリアンのDNAがある。ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。そして「奉仕は誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにする」と力説されました。

【SERVE TO CHANGE LIVES】

今日、奉仕のニーズはさらに高まり明白になっています。

来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切に願われました。この理由から、2021～22年度のRIテーマは、

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
(Serve to Change Lives)

と次年度を発表されました。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、これからの17カ月間でこれを変えようではありませんか。変革者であるガバナーエレクトには、会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪



れています。過去17年間にロータリーが達成できなかったことを、今後17カ月間に達成することにチャレンジしてください。そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれませんが、「夢は大きく」と私からお願ひするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショーの言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいる。しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える」ですから皆さん、夢は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです。この信じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。

【EACH ONE BRING ONE】

その答えは、「each one, bring one」、つまり、今後17カ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願ひすることです。私達がすべきことは、17カ月間にたった一人を入会させるよう、地区のすべてのロータリアンにお願ひするだけです。私達自身が模範を示し、また地区内のクラブ会長にも模範を示してもらうことを要請されました。（大きな夢に向かう）私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、この大きな夢に向かって行くには、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようロータリアンにインスピレーションを与えてやる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるという目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすという目標です。地区のロータリアンおよびロータリーアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。「もっと行動し」とは、より大きくインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者の基盤を広げるとを意味します。これを全てのロータリアンが実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変えることになるのです。

私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。

【ENPOWERING GIRLS】・【DEI】

次年度の焦点の一つは「女子のエンパワメント」です。ロータリーの中核的価値観に「多様性」があります。ロータリーのDEI（多様性、公平さ、開放性）に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場（差別・不利益・機会の欠如）に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、ロータリーはこうした女子が抱える問題に取り組み、それを和らげるように導くことができます。

【ROTARY DAYS OF SERVICE (ロータリー奉仕デー)】

もう一つの焦点は、ロータリーの活動を世界に知らせる「ロータリー奉仕デー」を実施し、ロータリーの活動を世界に示し、ロータリアン一人一人がロータリーのブランド大使となるよう奨励されました。

「2021～22年度ロータリー奉仕デー」のイベントとして認められるには、次を満たす必要があります。

- ・二つ以上のRC、RAC、IACによって計画されたものである。（協力クラブが同じ国か海外かは不問）
- ・ロータリー重点分野（一つまたは複数）に一致している。
- ・イベントへの関心を高めるため、少なくとも一つのメディア（フェイスブック、ツイッター、地元紙など）で周知を行う。
- ・参加者の少なくとも25%は、現ロータリー会員ではないまた、イベントは、以下の追加のガイドラインのうち、少なくとも三つを満たす必要があります。
- ・国連が定める国際デー、またはロータリーの特別月間に合わせて、関連トピックに沿ったものとする。
- ・事前に計画した奉仕活動を通じて、女子のエンパワメントに優先的に取り組む。
- ・計画と実施の段階で、ロータリー地域社会共同隊と協力する。
- ・少なくとも一つの地元企業、地域団体、政府または自治体と協力する。
- ・イベントの主催クラブが地域社会のエンパワメントをどのように継続していけるかについて、地域社会でのディスカッションを行う。
- ・家族やあらゆる年齢・能力の参加者が参加できる奉仕の機会を提供する。
- ・「世界を変える行動人」のリソースを使用し、#RotaryDaysと#PeopleofActionのハッシュタグを付けて、イベントの写真と成果をソーシャルメディアで紹介する。
- ・イベント終了後、クラブ会員ではない参加者へのフォローアップを行い、今後のプロジェクトやクラブ例会に招いて地域社会でのクラブの活動を知ってもらう。

【環境保全と保護】

ロータリーの重点項目に7番目の項目「環境の保全と保護」が追加されます。

1. 世界平和（紛争の予防と解決）
2. 疾病との闘い（疾病の予防と治療）
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育の充実（識字率の向上）
6. 地域経済の発展
7. **環境の保全と保護**

次年度からは環境の保全と保護に補助金が使えようになります。

秦野ロータリークラブ

会長 玉木 茂

秦野ロータリークラブは本年度、49名の会員でスタートしました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、3月14日に予定していた創立60周年記念の式典事業を中止、縮小し通常例会で60周年記念例会を実施します。記念事業で、はだの丹沢クライミングパークに付属する移動式のボルダリングウォール「ロータリーウォールNo.1とNo.2」



を秦野市に寄贈。8月25日の例会では「公益財団法人秦野ロータリー奨学基金」に応募された奨学生に卓話をして頂きました。秦野市在住の大学生に対する奨学金の給付事業で年間5名前後の奨学生に一人あたり30万円の入学金を給付しています。



伊勢原ロータリークラブ

会長 築城 忠生

伊勢原ロータリークラブでは、毎週水曜日に和膳照國さん例会を行なっています。現在の会員数は53名（内女性4名）。最年少者は42歳、最年長者はなんと98歳になりました。会員がとても親密でなごやかな雰囲気クラブです。



今年度は運営方針のひとつに戦略計画の策定を掲げました。クラブ活力テスト、会員意識調査、そしてクラブ協議会を実施。クラブの現状を浮き彫りにして良いところを伸ばして、欠けているところを補うという3カ年計画の策定にいたりしました。

年末の楽しみといえばクリスマス例会ですが、今年は開催することができないため「クリスマス ギフト&ディナー」の配布を行なったところ、ほぼ100%出席という快挙。たくさんの会員と家族が楽しみました。

そして、多くの奉仕活動が中止となり何か地域貢献ができないかと探ったところ、伊勢原協同病院のコロナ病床では患者さんが退院した後に看護師さんが2～3時間かけて病室を消毒されており紫外線殺菌機の設置を切望されている事を知りました。そこで紫外線殺菌機2台を贈呈させていただくという奉仕プロジェクトを実施いたしました。コロナ渦のなか会員がアイデアを出しあって少しずつ歩みをすすめています。



クラブ活性化戦略室



紫外線殺菌機贈呈式

クラブ紹介

第7グループ

秦野中ロータリークラブ

会長 高橋 豊一

7月12日、梅雨の合間のヤマユリの里にオカリナとハーモニカの音が静かにながれた。今日は、いつもいろいろな作業を一緒にしてくれるガールスカウトのお母さんたちと一緒に満開になったヤマユリの鑑賞会。

32代高橋会長、柳川幹事の時に、私たちの里山にも昔と同じようなヤマユリを咲かせよう、と始まったヤマユリの里づくり。鑑賞会も、もう何年も続く恒例の移動例会となった。社会奉仕の一環として、里山の持ち主の方の全面的な協力をいただき10余年。

最初の5年は球根植え、種蒔き、落ち葉掻き、そして初夏には下草刈りと支柱建て。移動例会として年に3～4回、会員皆で汗を流した。しかしヤマユリの里づくりは本当に難しい。実生は5年たってやっと花を持つ。20,000粒種をまいて花を持つまでに成長するのは、やっと0.2%程度か。球根は5年で枯れてしまうという。

花が咲きだすと今度は球根の盗掘に苦労した。里山の周りに柵をし、ネットを張ってハイキングコースから直接入れないようにもした。

今では300～400株程のヤマユリが咲き乱れる。2月21日は恒例の落ち葉掻きの移動例会だ。今年も7月に満開のヤマユリの鑑賞会ができるよう、ボランティアの人たちと密にならないように気を引き締めて、汗を流し、落ち葉掻きの移動例会は無事終了した。



伊勢原中央ロータリークラブ

会長 坂本 秀美

伊勢原中央ロータリークラブは、1978年に24名で創立され、現在会員12名（うちチャーター会員2名）ベテランと若手の年齢が半々の構成でバランスの取れたクラブです。少人数ではありますが、団結力があり、会員同士意見を出し合いながら機動力を持って活動しています。また、和気あいあいとした雰囲気のクラブで、今でも年に2回の泊まりの親睦旅行を恒例としていますが、今年度はコロナの影響でその他の親睦活動と共に見送りとなった上に、奉仕活動も思うように行えないことが大変残念です。しかしながら、2020年は伊勢原開村400年ということもあり、小中学校への教育的支援の奉仕活動に向け地区補助金を申請する予定です。我がクラブはこれまでITには全く無縁でしたが、今年度のガバナー公式訪問をオンラインで開催することを決め、無事に執り行うことができました。ただし、ロータリー活動とは直接顔を合わせたコミュニケーションが大切だと考えていますので、一日も早くコロナ終息を迎え今まで通りの例会運営が出来ることを願っています。



秦野名水ロータリークラブ

会長 神崎達朗

大山、丹沢山塊に抱かれた秦野。水清く四季折々の自然豊かなところ。この秦野市に3番目のクラブとして創立されたのが秦野名水ロータリークラブです。

創立33年になります。現在会員16名（男性9名女性7名）です。様々な事情がありまして、今期会員数がかなり減少しましたが、信頼感、連帯感の強い纏まったクラブになりました。コロナ禍に翻弄された本年度、当クラブには創立メンバーから入会数ヶ月の会員までいます。33年の歴史を顧みて検証することも大切なのではないかと考え、実施したのが「市内の贈呈記念物を巡ろうバスツアー」です。先輩ロータリアンの思いも乗せて市内15箇所を巡りました。市内を走る246号線の入口たる善波峠と出口の菖蒲に「名水の里」を誇る広告塔が各々1基設置されているのを確認。加えてバスの中では設置に関わった会員から苦労話を聞き、先輩ロータリアンが綿々と伝えてきた「奉仕の心」を再確認できました。このとき、米山奨学生のヒマーシさんの家族の来日がうまくかみ合い、秦野市内巡りを共にして親睦交流ができたことはラッキーでした。

「クラブファースト」を掲げた本年、「温故知新」を実施できたことは、とても意義ある活動となりました。また、後藤定毅ガバナーに卓話をお願いし、ロータリー精神に対する温かみ、日本人が持つ独特の倫理観についてのお話、感銘を受けました。今後会員増強に努め、中・長期戦略計画をたて進めてまいります。



伊勢原平成ロータリークラブ

会長 田中 諭

伊勢原平成ロータリークラブは、コロナ禍において通常通りの集合例会が行えなくなることを想定して、2020年4月からZOOMを利用したオンライン例会を行えるように準備してきました。導入当初は、高齢の会員やパソコンなどが苦手な会員は中々うまくいきませんでした。他の会員がご自宅に伺ったり一緒に参加するなどして調整してきました。

年度初例会やガバナー公式訪問は、自宅や勤務先などから全会員がZOOMで参加致しました。集合例会のときでもZOOMで中継をし、集まらない会員がZOOMで参加することもできております。

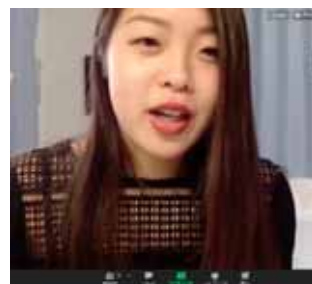
オンラインでの例会を取り入れることができるようになったことで、緊急事態宣言中であっても、理事役員会や例会を行うことができます。会員にとってもロータリアンとしての活動意識を持続できると考えます。一体感がなく発言者の一方通行になり易い点がありますが、例会の中で全員に近況報告などの発言をしてもらうように工夫しております。



新年度Zoom初例会(7/7) ノンアルコールビールで乾杯



ガバナー公式訪問(7/28)
Zoomで開催



元青少年交換留学生 西野佳奈さん
Zoomで例会参加(9/29)

訃報 ご冥福をお祈り致します



うきた みのる
浮田 實 (相模原グリーン)
 2021年2月11日逝去 (享年94歳)
 1993年6月11日 入会
 1997~98年度 クラブ会長
 ベネファクター
 P H F 2回、米山功労賞

会員数訂正のお知らせ

7月1日時点での女性会員数
 相模原橋本RC 8名(誤)→7名(正)
 地区内 263名(誤)→262名(正)

Rotary
 Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2021年3月号
NEWS

発行: Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

地区戦略計画推進委員会の紹介

「第3地域ロータリーコーディネーター会議」の参考として、近隣5地区に、戦略計画委員会の常設、委員会規定の制定、毎年の検証と次年度への申し送り、構成メンバーの5項目をアンケートでお伺いした結果は、全地区に戦略計画委員会は設置してありましたが、3/5は、規定や毎年の見直しがありませんでした。

私が所属する2700地区も戦略計画委員会の設置は、2016年に組織と規定が整備されたものの、他地区と同様に、構成メンバーが、直近の地区役職者に毎年交代して、RIの新しい情報を共有するメリットはあったものの、デメリットとして、地区の継続計画(5ヶ年計画等の長期計画)の検証と分析による確実な申し送り事項の作成や、ガバナーを経験してから考えつく地区の諸問題等々の分析と提案をするための時間的、地区役職者としての立場等々の問題が見えてきました。

このような問題を解決するために、戦略計画委員会の下部組織として以下のような「地区戦略計画推進委員会」を設置し、戦略計画委員会を支援することで、地区運営の効率が上がっていることを、参考として紹介いたします。(以下抜粋)

目的と任務:

- 地区戦略計画委員会の下部組織として設置し、戦略計画委員会委員長からの付託を受けて、戦略計画室が検討や審議する事項の資料収集や提言案等を纏め、戦略計画委員会に提出する。

構成員と任期等:

- 委員会構成メンバーは3名とし、地区運営に詳しい、地区幹事経験者又は地区委員長経験者。
- 委員の任期は3年を原則として、欠員が生じる場合、地区幹事経験者又は地区委員長経験者から補充する。
- 委員会の委員長は3名の中から委員長を互選し、委員長任期を3年以内とする。
- 構成メンバーの他に、顧問として 地区ガバナー経験者1名を置く。顧問は、戦略計画委員会が推薦する地区ガバナー経験者とし、任期は原則3年とする。
- 委員会の会合と場所 委員会は、概ね戦略計画委員会開催の1ヶ月前に開催をするが、戦略計画推進委員会からの開催要望があれば、随時開催して付託に応える。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐
 安増 惇夫 (宗像RC)

新型コロナウイルスの感染者が日本で最初に報告されたのは、昨年1月15日に中国・武漢からの帰国者でした。それから1年以上も経ちますが、終息が見えずクラブの活動も縮小しています。

しかしコロナ禍にあっても、ロータリークラブは様々な奉仕活動を実施しています。例えば2640地区(和歌山・大阪南部)は世界ポリオデーに高野山真言宗総本山金剛峯寺で「ポリオ根絶と新型コロナ収束」を祈願する法会を開催されました。宗教や宗派を超え、力を合わせて取り組んでいきたいとのメッセージを添えてfacebookで中継し、メディアでも報道されました。また2660地区(大阪北部)は昨年6月に地区内全クラブ協賛のもと、大阪府および大阪府内医療機関・福祉施設に医療用マスク、防護服、フェイスシールド、災害対策用テントを寄贈し、各病院や府庁での贈呈の様子がメディアに取り上げられました。これら大規模なものに限らず、各クラブが各地域のニーズに応える奉仕活動を行い、その報告を地区ウェブサイトに掲載しています。

コロナ禍によって人々の意識は変わったと思います。何処かで誰かのために役にたちたいと思う方が増えたのではないのでしょうか。これこそが新たな奉仕活動に取り組むことでロータリーの公共イメージが高まります。

従来どおりの奉仕活動が困難となった今こそ、クラブはこれまで以上に創造力を働かせ一つ一つの奉仕活動を工夫してください。そして活動について自ら発信し、地域の人々に知ってもらい、参加してもらうことに繋げましょう。以前から日本のロータリーは他の奉仕団体に比べ、アピールが弱いとも言われています。対外的に発信することは単なるPRではなく情報の交換であり提供です。近隣のクラブの取り組みを自分のクラブに応用すれば新たな奉仕活動が生まれるでしょう。ロータリークラブを知ってもらえれば地域社会から協力のオファーが来るかもしれません。

皆さんの地元での活動がロータリーの名を広めます。そして世界ポリオデーにすべての地区が活動しポリオ根絶を支援すれば、メディアを通じてロータリークラブが世に周知されます。

ロータリアンである皆さんひとりひとりが広報マンになってください。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐
 片山 勉 (大阪東RC)

第2780地区 2021年1月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数									
			1月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
			男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員	男女 合計	女性 会員
1	横 須 賀	0	117	12	112	12	7	0	2	0	5	0
	横 須 賀 北	0	21	4	22	4	0	0	1	0	-1	0
	三 浦	0	30	1	28	1	3	0	1	0	2	0
	横 須 賀 西	1	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横 須 賀 南 西	2	13	0	14	0	0	0	1	0	-1	0
	計		195	17	190	17	10	0	5	0	5	0
2	鎌 倉	0	81	13	81	13	2	0	2	0	0	0
	逗 子	0	47	4	49	4	1	1	3	1	-2	0
	鎌 倉 大 船	1	15	0	14	0	1	0	0	0	1	0
	葉 山	0	23	4	23	3	1	1	1	0	0	1
	鎌 倉 中 央	0	20	4	20	4	2	0	2	0	0	0
	計		186	25	187	24	7	2	8	1	-1	1
3	藤 沢 沢	0	42	13	43	12	3	1	4	0	-1	1
	藤 沢 西	0	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤 沢 北	2	8	2	8	2	1	1	1	1	0	0
	藤 沢 東	0	32	8	31	7	2	1	1	0	1	1
	藤 沢 北 西	0	12	0	13	1	0	0	1	1	-1	-1
	藤 沢 南	0	39	7	38	7	1	0	0	0	1	0
	ふじさわ湘南	1	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	3	24	14	25	14	0	0	1	0	-1	0
アークス湘南	4	4	2	4	2	0	0	0	0	0	0	
イノベーション湘南	1	25	1	0	0	25	1	0	0	25	1	
計		240	49	216	47	32	4	8	2	24	2	
4	茅ヶ崎	0	40	5	41	5	0	0	1	0	-1	0
	寒 川	0	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	綾 瀬	0	35	0	33	0	2	0	0	0	2	0
	茅ヶ崎湘南	0	44	1	45	1	1	0	2	0	-1	0
	茅ヶ崎中央	3	47	2	47	2	0	0	0	0	0	0
	綾 瀬 春 日	0	24	1	22	0	2	1	0	0	2	1
計		220	10	218	9	5	1	3	0	2	1	
5A	相 模 原	0	70	5	69	5	3	0	2	0	1	0
	相模原グリーン	0	53	5	54	5	0	0	1	0	-1	0
	津久井中央	0	21	4	19	4	2	0	0	0	2	0
	相模原橋本	1	58	7	57	7	3	0	2	0	1	0
	相模原ニューシティ	1	42	5	41	5	1	0	0	0	1	0
5B	相 模 原 南	0	51	7	51	7	1	0	1	0	0	0
	相 模 原 中	0	28	3	29	3	0	0	1	0	-1	0
	相 模 原 西	0	49	6	51	6	1	0	3	0	-2	0
	相 模 原 東	0	18	3	19	2	3	1	4	0	-1	1
	相模原柴胡	0	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
	相模原かめりあ	2	27	27	27	27	0	0	0	0	0	0
計		444	75	444	74	14	1	14	0	0	1	
6	厚 木	1	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0
	大 和	0	33	5	34	5	1	0	2	0	-1	0
	座 間	1	30	1	26	1	4	0	0	0	4	0
	大 和 中	1	27	1	27	1	0	0	0	0	0	0
	厚 木 中	0	24	1	24	0	2	1	2	0	0	1
	大 和 田 園	3	31	2	31	2	0	0	0	0	0	0
	海 老 名	1	53	4	48	5	7	0	2	1	5	-1
	海 老 名 樺	0	36	5	36	5	0	0	0	0	0	0
	厚 木 県 央	0	38	4	38	4	0	0	0	0	0	0
	本 厚 木	0	35	4	38	4	0	0	3	0	-3	0
計		348	29	344	29	14	1	10	1	4	0	
7	秦 野	1	49	6	49	6	0	0	0	0	0	0
	伊 勢 原	0	53	4	53	5	1	0	1	1	0	-1
	秦 野 中	1	40	1	38	1	2	0	0	0	2	0
	伊 勢 原 中 央	0	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦 野 名 水	1	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0
	伊 勢 原 平 成	2	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0
計		189	18	187	19	3	0	1	1	2	-1	
8	平 塚	1	64	4	62	4	2	0	0	0	2	0
	大 磯	1	15	2	16	3	0	0	1	1	-1	-1
	平 塚 北	0	37	5	35	5	3	0	1	0	2	0
	二 宮	0	8	2	9	2	0	0	1	0	-1	0
	平 塚 西	0	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	平 塚 南	0	16	3	19	3	0	0	3	0	-3	0
平 塚 湘 南	1	44	6	42	6	2	0	0	0	2	0	
計		214	23	213	24	8	0	7	1	1	-1	
9	小 田 原	1	63	2	66	2	0	0	3	0	-3	0
	湯 河 原	0	24	3	24	1	2	2	2	0	0	2
	箱 根	0	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0
	小 田 原 北	2	33	4	36	5	0	0	3	1	-3	-1
	小 田 原 城 北	0	42	3	39	2	4	1	1	0	3	1
	小 田 原 中	1	49	5	50	6	1	0	2	1	-1	-1
足 柄	1	18	1	18	1	2	0	2	0	0	0	
計		267	20	272	19	10	3	15	2	-5	1	
総 計		2,303	266	2,271	262	103	12	71	8	32	4	

地区内クラブ	地区内会員総数(人)	
67	2,303 (266)	()内は女性会員
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員数増減数(人)
103 (12)	71 (8)	32 (4)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2020~2021 Governor
Hideo Kubota

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度ガバナー
久保田 英男

■事務所/〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp